

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成22年6月24日 (2010.6.24)

【公表番号】特表2007-508905(P2007-508905A)  
 【公表日】平成19年4月12日 (2007.4.12)  
 【年通号数】公開・登録公報2007-014  
 【出願番号】特願2006-536760(P2006-536760)  
 【国際特許分類】

A 6 1 F 5/448 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 F 5/448

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年5月6日 (2010.5.6)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 4 】

現時点での好ましい実施態様において、内部パウチ側壁は、紙、好ましくはトイレットペーパータイプの紙などの、不織の繊維状材料のウェブに、プラスチックフィルムをラミネートして作成されており、ここでウェブは、内部パウチの内面に対して、外側を向いている。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 0 】

好ましくは、この 1 以上の外部パウチ剥ぎ取りシームには、剥ぎ取り行為が開始する部分 ( peeling action initiation zone ) があり、この部分において、この 1 以上の外部パウチシーリングシームは、予定される剥ぎ取り方向の反対方向にピークを有するテーパ部 ( peak - like extent tapering ) を有する。これによって、剥ぎ取りシームの剥ぎ取り行為が開始する領域が減少し、これによって、剥ぎ取り操作が容易になる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 1 】

好ましくは、この 1 以上の外部パウチ剥ぎ取りシームには、剥ぎ取り行為が終了する部分 ( peeling action ending zone ) があり、この部分において、この 1 以上の外部パウチシーリングシームは、予定される剥ぎ取り方向にピークを有するテーパ部 ( peak - like extent tapering ) を有する。これによって、剥ぎ取りシームの剥ぎ取り行為が終了する領域が減少し、これによって、剥ぎ取り操作が容易になる。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

好ましくは、この内面内部パウチシーリングシームには、剥ぎ取り行為が開始する部分 ( p e e l i n g   a c t i o n   i n i t i a t i o n   z o n e ) があり、この部分において、内面内部パウチシーリングシームは、予定される剥ぎ取り方向の反対方向にピークを有するテーパ部 ( p e a k - l i k e   e x t e n t   t a p e r i n g ) を有する。また、この内面内部パウチシーリングシームには、剥ぎ取り行為が終了する部分 ( p e e l i n g   a c t i o n   e n d i n g   z o n e ) があり、この部分において、内面内部パウチシーリングシームは、予定される剥ぎ取り方向にピークを有するテーパ部 ( p e a k - l i k e   e x t e n t   t a p e r i n g ) を有する。